



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 永井正美  
幹事 西澤吉樹 会報委員長 村上武史

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2174  
2014-3-7

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

### 本日の例会 3月7日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席  
光信(10) 岡本(10) 渡邊(10)  
山口(590) 内藤(50) 中谷(佳)(20)  
永井(30) 各会員
- お祝・卒寿  
今井会員
- ・誕生日  
今井 三木 各会員
- ・結婚記念日  
原田 岩永 北 光信 三宅  
中谷(徹) 尾崎(敬) 各会員
- ・入会記念日  
永井 中谷(徹) 岡部(泰) 岡本  
各会員
- ・会社創立記念日  
北 三宅 岡部(倫) 各会員
- 卓話 「大阪府立堺支援学校大手前分校の現状と課題」  
大阪府立堺支援学校大手前分校  
教諭 西田裕志氏
- 理事会 11:30 ~ 12:10  
シェラトン都ホテル大阪 3階 クローク横
- クラブフォーラム 13:40 ~ 15:30  
シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

### 次週のお知らせ 3月14日(第2例会)

- 卓話 「地区委員会報告」  
米山委員会 委員長 西谷雅之会員  
奨学金・学友・R平和フェロウシップ担当  
グループ 委員長 梅崎道夫会員  
災害支援プロジェクト委員 渡邊邦雄会員  
危機管理委員会 委員 小林正啓会員
- 食膳 〈フランス 肉料理〉

### 次々週のお知らせ 3月21日(第3例会)

休会

### 先週の記録 2月28日(第4例会)

#### ●出席報告

出席会員 39名 (内免除会員 12名)  
会員総数 52名 (同上 19名)  
ゲスト 1名  
ビジター 1名

計 41名

ホームクラブ出席率 83.33%

2月14日(第2例会)補正出席率 93.02%(MU 5名)

#### ●ゲスト&ビジター(敬称略)

宮崎彰夫(奈良)  
タイ・ジャユ・アンナ(米山奨学生)

### ◆会長の時間◆

早いもので甲午年二月も今日で終わり、明日からは三月。いよいよ春を告げる雛節句・奈良二月堂お水取りと矢継ぎ早にやっけてまいります。身体も自然とわくわくしてまいります。

さて、先週の地区大会には沢山のご出席ご苦勞様でございました。また、櫻井よしこさんの特別講演は最近にない程の盛況でありました。改めて厳しい日本の現況を知ることができました。

### 卓話

2月28日<第4例会>

#### 「中国で会社を經營する(その4)」

大原 文会員

「中国で会社を經營する」と題して卓話を始めて、足掛け6年、4回目になります。

#### なぜ中国で会社を

まず最初に、以前話したことと繰り返しになるかもしれませんが、なぜ私が中国に会社を作



ることになったかを簡単にお話させていただきます。

私の会社は、サクラクレパスのクレヨン、クレパス、

3月は識字率向上月間です!!

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

絵の具などを入れる紙箱を作っておりますが、この仕事は箱の中でも貼り箱と言われていて、なかなか機械化ができない。そのため20人から30人の生産ラインが必要です。それにお客様は新学期の4月に一度に函をくれといってきます。年に一度の需要期のために1年中30人を雇用していなければならない。またこの貼り箱というのは、膠糊という特殊な糊を使って箱を包むので、簡単に外注したりできない。ところが中国でもこの膠糊を使って箱を作っていたのです。それで上手に教えていけば日本と同じものが作れるかもしれないと思いました。実際はそんなに簡単には上手くはいかなかったのですが。

日本から機械を持ち込んだり、指導者を送り込んだりして、ぼちぼち作り始めました。最初は、70%が不良でした。

### 20年前の中国と今の中国

そのころ、丁度給料日に向こうにいて、向こうの工場長(トップ)の給料明細を見せてもらったのですが、従業員が2千人の国営の会社のトップで7百円でした。当時1元が10円ぐらいでしたから月給7千円ということです。一般の工具はというと、150円から200円ぐらいでした。20年前のことです。だから最初は安い労働力を目的に中国に進出したんですね。それが今では、一般工具で4,000円(最低賃金で3,030円)になり、1元は17.5円ですので、53,000円ほどになります。最低賃金は、毎年20%ずつ値上がりします。

土地、建物などの不動産は国有ですから、賃貸するのですが、その値上がりも、バブルの影響でものすごい勢いで値上がりしていきます。

中国はいまや立派な国になりました。土日は完全休日ですし、祝祭日も結構多いです。今年の初めに日本の私の会社と年間の祝日数を比べましたら、中国のほうが10日多かったです。中国では、残業賃金は1.5倍増し、休日出勤は2倍増しの賃金になります。

### 中国と日本での会社経営との違い

中国で会社をするのと日本の会社との違いはどの点にあるかということ、①当たり前ですが働いている従業員が、みんな中国人であるということ。中国人の国民性、習慣、やり方が優先されてしまいます。意見の違いがあっても、中国人のものの考え方を思い図って実行しないと、とんでもないことが起こります。②次に商習慣がぜんぜん違うこと。前にも話しましたが、手形がなくなって、小切手もほとんど使わないので、基本現金取引です。納品書、請求書、領収書というものが無いのです。發票(ファーピョウ)という領収書に変わるものはあるのですが、自分で勝手に発行できないので

す。日本では物を作って納品すると、〈売上げ〉〈売掛〉でとりあえず仕分けしますが、〈売掛〉、〈買掛〉という概念がないため、現金回収し、相手から發票をもらうまで、売上げを上げられないのです。それに会社には経理が必ず2人いることが法律で決まっています。1人は現金の出し入れをする〈出納係〉、もう1人は、毎日試算表を作っている〈会計係〉。中国では、全ての法人の決算は12月31日と決まっていますが、それとは別に、毎月試算表を税務署に持っていかなくてはなりません。それも、国で決められたコンピュータとソフトがあります。2人目の会計は、どちらかというと税務署の人間が1人会社にいるような感じです。③三つめの会社経営での大きな違いは、そこが社会主義国だということです。改革解放が進んで、普段生活をしたり、商売したりするのに社会主義を意識することは特にはないのですが、何かのときに、大きな障害になります。どんどん新しい法律ができ、それがまず外国企業に適用されてきます。中国の会社は、平気で無視している法律が多いのです。社会保険(健康保険、国民年金)は全て会社もちで、本人負担はゼロです。所得税は従業員は一律200元(3,500円)です。

中国で安いものを作ろうと思って行ったのですが、人件費も上がり、不動産価格も上がり、アベノミクスの円安効果で、1元が10円から17.5円になって、あまりメリットがなくなってしまいました。中国が急速に立派な国になってしまったので、今では、どのように上手に中国から撤退するかを模索しています。140人いた従業員も40人ほどに減らしました。

## にこにこ箱

2月28日(第4例会)

・久しぶりの卓話です。またまた中国の話で失礼します。

大原会員

・お陰様で昨日、逆転判決を得ました。目標からはまだまだ遠い結果で、壁の厚さ、高さを強く感じました。今後ともよろしく。

尾崎(敬)会員

・お祝い 1件

2月 にこにこ合計 149,000円

(編集担当 宇津井・濱田)

会員増強にご協力を!!